

指摘事項対応書（評定委員会）		
対象建築物：西谷公民館 （耐震診断） 受託事務所：（株）二川設計 同上担当者：二川博太 協力事務所：（有）アспект建築設計 同上担当者：中山潤二 担当幹事：徳廣 睦		日時：令和2年8月22日（土） 会場：霧の森 交湯～館 2階会議室 評定委員：委員長 ○ 松島 学 副委員長 ○ 小田憲史 副委員長 甲斐芳郎 委員：徳島会 ○ 黒田博巳 香川会 ○ 米澤 巧 愛媛会 ○ 大野 仁 高知会 ○ 前田竜誠
No.	指摘・対応	確認
1	<p>診断対象外の木造建物の耐震性について報告すること。また、本体建物との接合部について記述すること。</p> <p>（対応）</p> <p>診断対象外の木造建物は、X Y両方向共に所要の耐震性能を満足していません。耐震診断報告書を § 5 添付資料に追加します。</p> <p>本体建物との接合部については、「本体建物と診断対象外の木造建物は、屋根および壁が一体となっている。鉄骨H型鋼と木造柱が完全接合することは、鉄骨柱脚アンカーボルトが施工されているところに木造の土台を設置することは物理上できないので、鉄骨H型鋼柱には、間柱を添えているものと思われる。耐震補強の際には、調査部位を一部撤去して精密な調査を行い構造上分離させるか、鉄骨H型鋼柱と間柱を耐震性能に見合う耐力により連結させること」と記載しました。</p>	P. 1-17

No.	指摘・対応	確認
2	<p data-bbox="341 405 1054 434">以下の実態調査に対する指摘を追加および修正しました。</p> <p data-bbox="331 512 408 542">(回答)</p> <p data-bbox="347 568 991 598">a) P. 2-5 実態調査図に溶接のど厚を記載しました。</p> <p data-bbox="347 624 1283 707">b) P. 2-9 屋根面ブレースの実態調査図でガセットプレートのはし空きを記載すること。</p> <p data-bbox="347 734 1090 763">c) P. 5-36 の屋根面ブレースを実態調査図に追加しました。</p> <p data-bbox="347 790 1054 819">d) 根巻柱脚部分の実態調査図を 2 箇所分追加しました。</p>	<p data-bbox="1337 568 1409 598">P. 2-5</p> <p data-bbox="1337 624 1409 654">P. 2-9</p> <p data-bbox="1337 734 1425 763">P. 2-10</p> <p data-bbox="1337 790 1425 819">P. 2-11</p> <p data-bbox="1337 846 1425 875">P. 2-12</p>